

2021年12月末現在
組合員 4341人
出資金 1億7495万円
11～12月の動き
組合員 新規加入38人
脱退24人



西濃医療生活協同組合

医療生協



第126号

2022年1月10日発行

(奇数月発行)

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

TEL 0584-92-3268

ホームページ seinou.coop

編集 機関紙編集委員会

明けまして おめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願いいたします



デイサービスひのきの利用者さんみんなで、色塗りをして完成させた作品「今年の干支」です。「私の干支は卯なのよ」「私は辰よ」などとおしゃべりしながら、楽しく作りました。

「健康で長生き」はみんなの願い 今年も「健康づくり」の活動を広げていきましょう

近頃「健康寿命」という言葉をよく耳にします。日本は世界一の長寿国であり、日本人の平均寿命は女性87歳、男性81歳ですが、一方で健康寿命は女性74歳、男性72歳と平均寿命と比べて10歳前後短い現状で、健康寿命が注目されています。

昨年12月4日に開催した健康講座「心臓のお話」は、4会場をインターネットでつなぎ、しずさと診療所の岡野高久医師が講師をつとめ、全体で120人を超す参加でした。参加者から「健康寿命を延ばすことを意識して、生活習慣を改善していきたい」という感想がたくさん聞かれました。詳細は、本紙4ページを参照ください。

せ い り ゆ う

「健康寿命」への関心が高まっています。この場合の健康とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる」と定義されています。これはみんなが願い望むことだと思います▼私たち医療生協は、健診による早期発見・早期受診、高血圧・糖尿病などの慢性疾患の受診とともに、日常の暮らしでの健康づくりの取り組みが大切だと考えています。健康づくりでは、本号でも紹介している地域での支部や班の活動、生活習慣改善のための「健康チャレンジ」などを行っています▼健康の定義についてWHO憲章では「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」としています。「すべてが満たされた状態」というのがちょっとわかりにくい。その点、医療生協の健康観は「昨日よりも今日が、さらに明日がより一層意欲的に生きられる。そうしたことを可能にするため、自分を変え、社会に働かせる。みんなが協力しあって楽しく明るく積極的に生きる」としてとてもわかりやすい。病気があっても、障がいがあっても意欲的に生きることができるよう、生きづらさを感じることがないよう「社会の障害」を取り除いていくために、社会に働きかけることの大切さを痛感します▼病気になったのは本人の不摂生による自己責任とする風潮が強まっているなかで、生活習慣の改善が本人の意志にもかかわらず実行できないのは、長時間労働や低所得などの社会環境からであるというSDH（健康の社会的決定要因）の視点からしっかり見る必要があるのではないのでしょうか。社会保障費削減のため医療や介護の自己負担が増大し続け、必要な医療・介護が受けられないというのも「社会の障害」です。医療生協の健康観を大事にして、組合員活動を地域のなかに広げていきたいと思っています。

組合員活動部 松岡和彦

よろしくお願ひします



新年のご挨拶

理事長 木村隆之



西濃医療生協の組合員、患者・利用者、そして職員の皆さん、新年を迎えるにあたり、ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。

2001年6月3日に創立した西濃医療生協は、20周年を迎えました。私たちが創立当初からめざ

してきたものは、全ての組合員や住民が「住み慣れた地域で最後まで自分らしく生きる」ことのできる地域社会と、それを可能とする医療・福祉事業を創造することです。私たちの20年に及ぶ活動・事業は、夢の実現に向かって大きく前進してきました。

組合員数は4300人を超えました。NPO法人「西濃たすけあい」も、福祉輸送など、本格的に動き出しています。医療・介護事業は110名を超える職員集団によって担われ、事業規模は年間7

億5千万円規模に達しています。「コロナ禍」のもとでも、西濃医療生協は、地域の保健・医療・介護、そして暮らしの拠点という役割を高めてきています。

一方で、西濃医療生協を取り巻く社会状況は厳しさを増しています。コロナ禍の収束の見通しは、まだ立っていません。「新しい資本主義」を標榜する岸田内閣が発足しましたが、2021年度補正予算は期待を大きく裏切るものでした。公債を当てにした35兆円の巨額予算ですが、防衛費に770

0億円（1%増）を充てるなど、コロナ後の景気対策とはいえ、新しい項目が並びます。一方で、後期高齢者窓口負担の2割化や連年の報酬のマイナス改定など、医療・介護ははじめ社会保障の縮小・抑制をますます強めています。

私たちは、組合員が主人公の医療・介護事業という原点を忘れず、積み上げた20年間の実績を糧にすれば、2022年は必ずや西濃医療生協の新たな飛躍の年にできるはずです。本年も気持ちを新たに挑戦していきましょう。

新年の抱負

専務理事 中村英洋



新年明けましておめでとうござい
ます。おかげさまで、西濃医療生協は昨年設立20周年を迎えることができました。引き続き、組合員の想いに応える医療介護活動を継続していく覚悟です。本年もよろしくお願ひ致します。

(写真は本部職員)



しずさと診療所

事務長 水野明典

2022年が平穏であんきに暮らすことが出来る1年になりますよう、しずさと診療所として皆さまの健康とくらしのご支援に心がけて参ります。お気軽にご相談ください。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

しずさと診療所リハビリテーション

科長 堀井聡至



リハビリ部門では、皆さまが住み慣れた地域で、楽しみのある生活を送ることができるよう日々かわらせていただいております。本年も研鑽して参りますので、よろしくお願ひ致します。

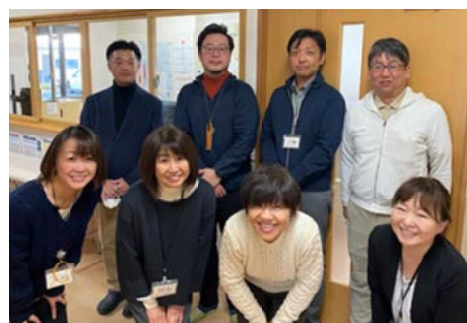
2022年 本年もどうぞ



しずさとデイサービスセンター

管理者 奥田博己

昨年もたくさんの方にご利用いただき、ありがとうございます。本年も皆様「しずさとデイサービス」に行っていてよかった」と思っていたいただけるサービスを提供できるよう、スタッフ一丸となって努めて参ります。



しずさと介護支援センター

管理者 木村 航

今年も西濃医療生活協同組合の一翼として、組合員、地域の皆様と一緒に、いつまでも住み慣れた場所、最後まで自分らしく安心して生活が送れるような地域作りに貢献していきます。よろしくお願いします。



デイサービスひのき

管理者 染矢 拓

生活の基本、介護の基本、生活支援の基本をしっかりと支えられるように、今年も1日1日を大切にしながらご利用者様と過ごしていけたらと思っています。本年もよろしくお願いします。



しずさとショートステイ

管理者 奥田博己

昨年度は、コロナの影響もあり面会の規制など多くのご不便をおかけいたしました。まだまだ不安が解消されない状況が続きますが、私たちは変わらず「安心して過ごしいただける環境」を追求し、提供して参ります。



しずさと訪問看護ステーション

所長 正岡真弓

ご利用者様やご家族様と笑顔が溢れる関係や時間を築くとともに、尊い命と生活に寄り添えるよう、より良い看護を目指し、職員一人一人が日々精進して参ります。

編集委員会より

西濃医療生協の事業所から、それぞれ今年の抱負を紹介します。

感染対策のためにマスクづけの日常ですが、シャッターを押す一瞬のマスクなし写真です。

総勢で116人になる職員全員の紹介はできませんでしたが、医療生協の事業を支える職員を今年もよろしくお願いします。

健康講座「心臓のお話」

しずさと診療所 医師 岡野高久



高血圧はじめ生活習慣病は健康寿命を妨げる大きな要因です。12月4日開催の健康講座において「心臓のお話」というタイトルで、(1)心臓のつくりと働き、(2)高血圧と生活習慣病、(3)心臓の病気：狭心症、心筋梗塞、(4)心臓の病気：不整脈、(5)動脈硬化について、に関して話をさせていただく機会がありました。今回は心臓の働きと高血圧について、次号に心臓の病気について掲載します。

(1)心臓のつくりと働き

心臓は人の握りこぶしより少し大きい程度の大きさで、胸部の正中よりやや左に位置しています。4つの部屋（右心房、右心室、左心房、左心室）と各出入口に4つの弁を持つ構造です。心臓は1分間に5リットルもの血液を全身に送り出すポンプの働きをしています。これにより脳、肝臓や腎臓といった全身の臓器に酸素と栄養を送り届けているのです。1分間の脈拍を70回とすると1日に約10万回、人生100年時代と言われている昨今のレベルでみると一生になると37億回も拍動している働き者なのです。

(2)高血圧と生活習慣病（図1、2）

高血圧、脂質異常症（高コレステロール血症）、糖尿病は、食事や運動など日常生活との関連が強く生活習慣病と呼ばれ、動脈硬化に起因する病気を引き起こします。血圧とは体内を流れる血液が動脈の壁を押す圧力のことです。高血圧の基準値は年齢や合併症によって多少異なりますが、家で測った血圧（家庭内血圧）で収縮期血圧（上の血圧）が135mmHg以上、または拡張期血圧（下の血圧）が85mmHg以上の場合、また診察室で測った血圧（診察室血圧）で収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧が90mmHg以上の場合に高血圧と診断します。

高血圧が怖いのは、多くの場合、自覚症状がないことです。動脈硬化が進行して自覚症状がないうちに突然の脳出血をきたしたり、持続的な高圧負荷で心臓や腎臓の機能低下（心不全、腎不全）など、死に至る危険な病気を引き起こすことです。血圧が高いことで頭痛、めまいや鼻血などの症状がでる場合もありますが、それは高血圧性脳

症の症状で危険な兆候です。

高血圧治療の目的は脳卒中や心筋梗塞を予防して健康寿命を延ばすことで、高血圧の治療と予防は「血圧をコントロールすること」につきます。適切な血圧目標値をしっかりと意識して、日常生活で「塩分の摂り過ぎ」「運動不足」「肥満」「ストレス」など血圧上昇の要因を排除することが大切です。必要に応じてお薬の治療も行います。

昨年4月より循環器専門外来（水曜日）を開設しています。胸痛、息苦しさ、動悸、足のむくみ等、心臓が原因かと思う症状や高血圧、高コレステロール血症、糖尿病をはじめ生活習慣病など気になることがありましたらぜひ受診されることをお勧めします。

※当日のスライド原稿のプリントをご希望の方は本部までご連絡ください。

（図1）血圧目標値

目標血圧をしっかりと確認し自覚すること

年齢と病態	診察室血圧 (mmHg)	家庭血圧 (mmHg)
75歳未満は原則として	130/80未満	125/75未満
75歳以上で自力で外来通院可能なレベルなら、まずは	140/90未満	135/85未満
年齢に関わらず、 フレイル、認知症、要介護、 エンドオブライフの患者	個別に 判断する	個別に 判断する

※個人の状態によっては、降圧目標が異なることがあります。75歳未満でも、140/90mmHg未満のこともあれば、75歳以上でも、130/80mmHg未満を目指す場合もあります。

（図2）高血圧 サイレントキラー：静かなる殺し屋

* 高血圧治療の目的：脳卒中や心筋梗塞などの病気を予防し健康寿命を延ばすこと

* 高血圧が怖いのは ・ 自覚症状がないのに突然の脳出血
・ 高血圧の負担による心不全、腎不全



死に至ることもある非常に危険な病気を引き起こす

赤坂支部

恒例の紅葉狩り



年間行事の紅葉狩りを11月23日に行いました。

雨上がりの秋空の下、9人の参加者は虚空蔵さんを目指し元気に登り、傘松あたりから明星輪寺まで色づき始めた紅葉のもと記念写真を取りました。今年は雨が少なく色づきが今一つでした。

健康サロン

高瀬克己

11月18日(木)「アコーディオン演奏で楽しく歌おう」と歌声サロンを旧早野邸セミナーハウスにて開きました。9月はコロナ禍で中止になりました。

たが、今回再開することができました。

22名の参加者があり、始めに支部の安田さんの指導で深呼吸や身体をほぐす軽い運動をした後、川井さんの懐かしいアコーディオン演奏により最初に「ふるさと」を歌いました。次に歌集の中の好きな歌を皆さんからリクエストしてもらい、童謡、歌謡曲、フォークソングと次から次へとリクエストがあり、1時間15分、皆さん笑顔いっぱいでした。

「久しぶりに思い切り歌ったわ」「ストレッチ発散できた」「身体が軽く楽になった気分」と明るく元気になりました。



宇津時雄

赤坂支部 健康サロン

「笑って、動いて、認知症予防」

Part 2

講師 田邊 三千代さん

日時 1月20日(木)10時~11時半

場所 岐阜大学

旧早野邸セミナーハウス

(大垣市昼飯町1777 TEL 71-0151)

一昨年11月に開催した認知症予防講座のPart 2です。皆さんの参加をお待ちしています。

※コロナ感染拡大にて会場が使用できない場合は中止(延期)します。確認の上ご参加ください。

問合せ先

宇津 91-2379 大谷 91-6049

高瀬 71-4409

大垣中央支部

「カフェげんき」の

遠足楽しかったワァ!

12月3日、9名が賑やかに車に乗り込み本今町から滋賀県マキノ町メタセコイヤの並木道へ出発。関ヶ原町在住の高木氏が運転手兼ガイドとなり中山道の幾多の歴史スポットを案内。米原から柏原へと、西濃に案内で聴こえも悪い私に仲間たちの優しい補足もあり、特別嬉しい旅が始まりました。

姉川を越え、渡岸寺の国宝十一面観音菩薩拝観後、近江温泉食堂で昼食を楽しみ、マキノ町へ向かう途上



でもいくつかの歴史に浸り、美しい名残の紅葉に見送られながら、蒼天にまっしぐらにアーチを作るメタセコイヤ並木に到着。大勢の人々が行き交う「冬ソナ」の並木道を私たちもゆっくり散策ができました。

帰路の峠道では鏡面さながら紅葉を映す「もみじ池」や琵琶湖河畔の景色に歓声を上げながら無事帰着。鬼柚子やかぼちゃのお土産までいただき、なんとも素敵な一日でした。

転居して半年の私を医療生協の温かく大きな懷に迎え入れてくださった皆さん、本当にありがとうございました。西濃医療生協の絆の強さを感じました。

福寄弥恵子



不破支部

「垂井宿ウォーキング」に参加して

機関紙『げんき』掲載の「中山道垂井宿界隈ウォーキング」のタイトルに惹かれ、初めて不破支部の行事に参加させていただきました。

晩秋の高く広く澄んだすばらしい青空の下、正にウォーキング日和です。

ベテラン街角案内人の名ガイド不破さんに、街角22箇所を案内していただきました。

近くに住んでいながら初めて訪れる場所も多く、未知の細い路地裏を歩くのは大好きでワクワクしました。まず「古清水」や「裏清水」を案内していた



できました。手を清水に浸けたら温かい湧水でした。湧水は夏は冷たく冬は温かく、人に優しい泉です。

ここに置かれていたまな板のような板を「何に使うものでしょう?」とのクイズには誰も正解者はおらず、なんと、これは、洗濯物をすすぐ際に膝を乗せるのに使う膝立でした。きつと、ご近所さん同士、世間話をしながら俯いて洗濯をされたであろうと住民の姿を想像しました。この湧き出る泉は和歌にも詠まれたそうで、地名の「垂井」はここから生まれたそうです。ちなみに、案内人の方はこの裏清水が一番好きだと語っておられました。

改めて垂井の歴史や魅力に触れ、また訪れたいと思えた街でした。それに加え、ガイド氏の巧みな話術、きめ細かな説明、しばし古の歴史を偲んだひとときでもありました。また、時折味のあるユーモアも出て思わずみんなの笑い声も弾み、和気あいあいの雰囲気、歩くのも楽しめました。よく知られている場所は勿論、マイナーな場所もいくつか案内していただけたことは私にとって嬉しいことで、充実した半日でした。

ガイドの不破さんはじめ、企画やお世話して下さった役員の方々、ありがとうございました。

中川すえ子

NPO 西濃たすけあい

西濃医療生協のたすけあい活動を発展させ、NPO化した「西濃たすけあい」が設立して半年が経過。家内の清掃やゴミ出しなどの日常生活支援と福祉有償運送を中心とする活動を行ってきました。月平均の利用回数は、生活支援が15回、福祉有償運送は160回でした。

12月26日に担い手活動交流会を開催し、利用状況を出し合い、改善点など今後の課題を出し合いました。



お問い合わせ

電話 080-3645-3268

受付時間 平日9~12時まで

宇留生支部

歴史散策の班会に参加して

12月某日、天候にも恵まれ歴史散策と称して関ヶ原古戦場記念館に行ってきました。

もう何年も前に学んだはずでしたが、余りにも浅い知識しかなかったことに反省しきりでした。プロジェクトン・マップによる合戦の様子や椅子か

ら伝わる振動で大迫力。引き込まれる時間でした。校外学習の小学生たちも武器を手に取り楽しそうでした。耳慣れた地名、武将名等に改めて親近感を覚えました。また、5階の展望台では360度見渡せる景色に感動し、とてもいい思い出の一日でした。

T・M

西濃南部支部
みかん狩りに参加して

11月23日南濃町の木村さん宅でのみかん狩りに初参加しました。楽しくて自分ひとりでは持てないくらいコンテナに収穫しました。また、参加された皆さんと一緒に太陽をあびながら和やかに食べたおにぎりはとって

もおいしかったです。

食後、まわりの紅葉やみかん畑、眼下に広がる濃尾平野を眺めながらウォーキングを楽しみました。コロナ禍で人と接することが少なくなっていた私にとって至福のひとつでした。ありがとうございました。

川瀬喜久枝

フレイルを克服して 歩けることは人生の宝(下)

9月8日は傘寿の誕生日。8か月の努力とリハビリで充分とはいえずとも少しずつ歩けるようになり喜びで涙しました。コロナ禍の中、友人たちの集いや老人施設のボランティアもなく、自分の歩くことに集中できました。この間、友人たちにも励まされました。大好きなおはぎや赤飯が届いたり、「骨も大切に」と小魚が届いたり感謝の日々でした。

そして自然からも力をもらいました。春は散歩道に咲くヒメジョオン、ハルジオンなど何十種類の草花たちや小鳥たちのさえずりも喜びでした。秋には野菊、彼岸花、休んでいるとポトンと落ちてくる松ぼっくり、ドングリなど、歩いてこそわかる自然です。そして私の大好きな伊吹山です。自転車生活65年、毎日見てきました。今は歩いてゆっくりです。青空の日、雲にかくれている日、伊吹山と語ります。また歩



けることで「街づくり」を考えさせられました。何より近所の方たちとの挨拶、対話が増えました。歩道の花々や木々、ポイ捨てのゴミ、思うことが数々です。

また、散歩途中に大きな家の石垣や道路にそったブロック塀の台所の入り口などで休ませてもらっています。「座布団があるなあ」とひやかされてもいます。私は数年前故郷の柏崎市を歩きました。その時、歩道のところどころにベンチがあり「いいなあ」と感じたことを思い出しました。今、その必要がしみじみわかるのです。

身体のおとろえは「足から」と耳にはしてききましたが本当でした。寝たきりにならないための「足病」を学ぶ場の必要を歩けなくなってしまうと、今、高齡化社会です。安心して歩ける街、歩くことが喜びの街にしたいと思っています。1年8か月前は歩けなかったのに、今は歩ける喜びです。歩けることは「宝」です。規則正しい生活と三度の食事。特に朝食に力を入れています。楽しみつづ

大垣南支部 杉原幸子

大いに学んだ講演

母親運動の輪を広げよう！

第49回西濃母親大会が11月23日に大垣市情報工房で開催され、150人が参加しました。

オープニングでは、伊舞木座の寺倉和子さんが作詞作曲した「さがしています」が披露されました。日本母親大会（オンライン）に参加しての発表や、「子どもたちが放課後に遊べる留守家庭児童教室を整備してほしい」「小中学校の女子トイレに生理用品の設置を」「関ヶ原駅にエレベーターの設置を」

「教育署名を広め、ゆきとどいた教育の実現を」と、四つの実行団体からの発表がありました。

その後、岐阜市のみどり病院薬剤部長の今西正人さんが、「知識とは『持続する安心感』」と正しく知ろう、感染症のこと」と題して講演されました。今西さんは、新型コロナウイルス対策でよく使われる抗菌・除菌・殺菌・滅菌・消毒のそれぞれの正確な意味を説明されました。入店時だけでなく、退店時の消毒の必要性や、テレビ

やネットの情報をつのみにせず、柔軟かつ迅速に科学的に信憑性の高い情報を見極めることの大切さを強調されました。

商品表示のうのみは禁物。データの正しい見方を知り、今日の講演でとても得をした気分ですなど、参加者からの満足した感想がありました。

今年6月に第64回岐阜県母親大会が西濃で開催されます。子どもたちに明るく平和な未来を手渡すためにぜひご参加ください。

西濃母親大会実行委員長 奥田和子

ピース*フォーク喫茶

～2022年年明け早々 やります～

日時 1月23日（日） 午後2時～4時
1時40分より受付

参加費 大人のみ300円（当日受付にて）
歌集や楽器があればご持参ください

会場 北地区センター

*コロナ対策でお菓子などはありません

*マスク・検温・名簿記入にご協力を

歌いたいなあと思った方は、誰でも参加OK。

「みんなで歌う」「一緒に歌える楽しさ」世代を超えて素敵な時間を楽しみましょう♪

主催 コープ・ピースクラブANNあん
生協内平和クラブ&伊舞木座

問合せ先

西濃教職員組合 0584-74-0352（山岸）

健康委員会

健康チャレンジ

今年も健康チャレンジは2月にスタートします
ぜひ ご参加ください

皆さんに健康習慣づくりを呼びかけています。

ご自宅で一人でもチャレンジできます。お友だち
どうし、家族みんなで参加することもできます。

本紙折り込みの健康チャレンジカードに記録して、
結果報告を提出してください。全員に記念品をプレ
ゼントします。

診療所・介護事業所の草取りボラに
皆さまのご協力をお願いします

日 時 3月27日(日) 8時～
※雨天の場合 4月3日(日) 8時～
集合場所 しずさと診療所
問合せ先 正岡礼子 0584-27-5957

無料

あんこも
生活相談

多重債務(破産・再生・任意整理)、離
婚・親権・遺産相続、交通事故、労働災
害、医療事故、消費者被害、損害賠償な
ど。提携弁護士がご相談をお聞きします。

日時: 1月19日(水) 2月10日(木)
3月10日(木)

○相談時間: 午後2時～3時
1件あたり30分

○事前申込みが必要です。
本部電話 0584-92-3268

ウォーキングの会

日 時 1月17日(月) 雨天中止
場 所 百々ヶ峰(418m: 初級コース)
岐阜市百々ヶ峰山麓にある「長良川ふれ
あいの森」の駐車場から山頂展望台に向
かって歩きます。
集合場所 しずさと診療所 8時30分
持 ち 物 弁当・水筒・雨具・防寒具・登山靴又は
運動靴
会 費 200円+交通費400円
問合せ先 杉野 0584-34-1817
梅村 090-4232-9057・0584-34-1403

山楽会

12月から2月まで冬休みとし、3月より再開します。

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

実施日 1月12日(水) 17日(月) 25日(火)
2月2日(水) 7日(月) 17日(木) 25日(金)
時 間 12時半から
場 所 三城公園 ソフトボール場
問合せ・申込先 河村秀一 090-5450-3227

しずさと診療所 診療案内

内科・外科・整形外科・リハビリテーション

		月	火	水	木	金	土
8～9時	検査	柄澤	柄澤	—	柄澤	柄澤	—
9～12時	第一診察室	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※2
	第二診察室	岡野	岡野	岡野※	岡野	岡野	—
	第三診察室	粕谷	—	粕谷	—	※1	—
14～17時	訪問診療	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	
17～19時	第一診察室	岡野		泉		柄澤	

※1 金曜日の第2診察室

柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。

※2 土曜日の診察

第1・3は岡野医師が担当します。
第2・5は柄澤医師が担当します。
第4は松井医師が担当します。

※水曜日午前の第2診察室

岡野医師が循環器専門外来を担当します。

<医療・介護のお問い合わせは>

▼しずさと診療所

電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169
〒503-0982 大垣市久徳町153-1

▼デイサービスひのき

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311
〒503-0981 大垣市松町706

▼介護センターしずさと

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151
〒503-0981 大垣市松町1452

・介護支援センター 0584-93-1171
・デイサービスセンター 0584-93-1172
・訪問看護ステーション 0584-93-1173
・ショートステイ 0584-93-1175